巻頭言



昇降機・ビルシステム特集に寄せて

Foreword to Special Issue on Elevators, Escalators and Building Systems

上野寧大 *Yasuhiro Ueno*

三菱電機ビルソリューションズ㈱ 取締役 常務執行役員 日本事業統括本部長

Director Executive Officer, Group President, Japan Business Group, Mitsubishi Electric Building Solutions Corporation

ビルシステム事業を取り巻く国内の市場環境は，人口減少や高齢化等による人手不足の加速，資材・人件費の高騰による新規ビル需要の停滞など，厳しさを増しています。一方，省力化や脱炭素等の社会ニーズの高まりに加えて，生成AIをはじめとした新技術や警備・搬送・清掃ロボットの普及，ビル内設備（昇降機・空調等）のデータを活用し運営の効率化・自動化を更に高めていく“スマートビル”の需要が加速するなど，新たなビジネスチャンスが顕在化しています。また，海外でも，インド，ASEANの経済成長や，中国をはじめとした昇降機リニューアル需要の拡大もあり，昇降機事業の更なる成長に加えて，ビルシステムや空調・冷熱事業の拡大が期待されます。

このような中，三菱電機ビルソリューションズ㈱（MEBS）は，MEBSのコアコンピタンスである“昇降機や入退室管理をはじめとした強いコンポーネント”“グローバルに展開している販売／保守チャネル”“保守を通じて蓄積されたビルデータや現場のフィールドナレッジ”を基盤として，ここに“三菱電機グループの最新技術”を掛け合わせて，社会や顧客の課題を解決するビルソリューションを提供してまいります。

昇降機事業は，新設～保守～リニューアルを通して顧客と長期間つながり続ける循環型ビジネスを更に推進していく中で，安全・安心・快適な製品・サービスを提供します。例えば，製品自体のダウンサイジングや国内・海外統一のコンポーネント・新機能を投入することで，建築設計の自由度向上への貢献やグローバルでの高い品質を実現します。また，保守でも，AI故障解析技術の先鋭化や，ビルやエレベーターの情報をサイネージを通して利用者に提供するサービスなど，一層のデータ活用を進めていきます。さらに，長年利用いただいたエレベーター／エスカレーターに最新の技術と新たな価値を付加できるリニューアル機種の開発・投入も図ってまいります。

頻発する地震への対応としては，地震発生時に休止したエレベーター機器の異常有無を自動診断し，安全性を確認したのち自動で運転を再開する“ELE-Quick”（エレクイック）の普及や，長周期地震動に対応した新たなサービスの投入によって，社会の安全・安心に貢献してまいります。

ビルシステム事業は，MEBSの成長エンジンとして，国内での入退室管理システムやビル管理システムのクラウド化を進めて，顧客からの要望が高い省コストや省力化，利便性を高めていくサービスを展開しています。さらに，MEBSのビルIoT（Internet of Things）プラットフォーム“Ville-feuille”（ヴィルフィーユ）を活用し，各種ロボットの縦移動を実現するエレベーター連携システムの機能拡張や，ビルオーナー／利用者向けのスマートフォン専用アプリケーション“BUILDAYS”（ビルデイズ）のメニュー拡充を図るとともに，システム計装や空調設備との連携によるビル内エネルギーマネージメント事業の拡大に取り組んでいきます。そして，これら国内で培ったスマートビル向けのサービスや技術をグローバルに展開し，更なる成長を目指します。

急激に市場環境が変化していく中，今後とも安全・安心・快適なビル空間を創造するソリューションプロバイダーとして新たな価値を創出し，社会や顧客とともに常に前進してまいります。